



## 第16回 通常総代会

# 「CS改善活動」に 役職員一丸で取り組み、 「信頼されるJA」実現へ

6月30日（月）、午後2時よりJAさっぽろ第16回通常総代会が共済ホールにて開催され、古屋新一総務部長より開会宣言後、以下の次第に沿って進められました。

**出席者数 582名**

本人出席	260名
書面議決	320名
委任状	2名



- 一、開会
- 二、JA綱領唱和
- 三、代表理事組合長挨拶
- 四、来賓祝辞
- 五、議長選出
- 六、書記の指名
- 七、議案審議
- 八、決議案上程・採択
- 九、閉会

第十六回 通常総代会 次第



▲ご出席いただいた総代の皆さま、来賓の皆さまに向け、挨拶を述べる藤田範彦組合長。

## 代表理事組合長挨拶より

平成二十五年度を振り返りますと、国際的には、政情不安・経済危機が多発し、近隣諸国との歴史認識をめぐる外交問題など、多くの懸念材料が波乱含みの模様となっております。各国経済の枠組みを一変しかねないTPP問題は、国会決議の遵守を求め、引続きJAグループの一員として訴えてまいりましたが、十一月のアメリカの中間選挙を睨み、いよいよ最終局面と見られます。

一方、国内経済は、デフレ脱却に向け具体的に動きだした年でありました。一部の 대기업では空前の利益を計上しておりますが、アベノミクス効果もなかなか末端には届かず、農業分野では飼料・資材・燃料などの高騰が大きな打撃となることから、懸念される所でございます。

管内の農業につきましては、春の融雪の遅れ、その後の作物の育成に最も

重要な時期の低温・長雨・日照不足、更には収穫期のゲリラ豪雨等々、年間を通して記録づくめの異常気象が続き、総じて大変厳しい営農環境でありました。特に主要作物であります玉葱は、生産者の皆さまが永年培ってこられた知恵や技術・経験を持ってしても最後まで補うことの出来ない、大変残念な年でありました。「今年こそは」と願うと共に、生産者の皆さんの一年間のご努力に改めて敬意を表します。

さて、平成二十五年度のJA事業の取組みにあたり、事業基盤の強化を課題として女性並びに青年部を中心として組合員子弟の組合員加入促進運動に取り組んでまいりました。この一年で女性三十九名・青年部十一名計五十名の新規加入となり、また二十五年度の総代改選期にあたり、女性総代の選任をお願い致しました。農協の組織活動に女性の果たす役割が欠くことのできない存在となつていくことは既にご承知のとおりで、なお一層、女性の感性・視点を持つて地域社会に求められる農協作りにご尽力いただきますようお願い申し上げます。

平成二十五年度の事業収支は、事業利益では前年比四、三六七万円増加の二億四、八一一万円を確保し、当期末

処分剰余金は、六億八〇一万円を計上して、一・二％の出資配当を上程するとともに、次期繰越剰余金を三億一、一七〇万円としてご提案しているところであります。

平成二十六年年度の取組みであります。が、昨今の農業・農協を取り巻く環境は近年になく厳しいものと思われれます。柱であります農協改革については、今後五年間を改革の集中期間と位置付けられ、政府から次の通常国会で関連法案が出される予定となつており、答申では中央会・全農だけではなく、単位農協の在り方も問われております。改革は自らの意思に基づいて行なうものであり、答申は答申として我々自身が今一度、原点に立ち返るときであろうと思ひます。

我々は地域の総合事業に取り組む組織として、組合員皆さまの負託にこたえるべく積極果敢に改善・改革を図り事業推進をしてまいります。お示し致しております事業計画を確実に実践し、更なる財務基盤の強化と健全性の向上に向け、経営の効率化を図つてまいります。

また、組合員皆さまの満足度の向上を目指した「CS改善活動」に役職員一丸となつて取り組み、JAさつぽろの経営ビジョンであります「信頼されるJA」の実現の為に役職員の総力を傾注して、農協運営に取り組んでまいります。組合員の皆さまには、尚一層のご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

## 議案審議

### 第十六回 通常総代会 議案

#### 議案第一号

平成二十五年度事業報告、剰余金処分案の承認について

#### 議案第二号

平成二十六年事業計画の設定について

#### 議案第三号

定款の一部変更について

#### 議案第四号

役員報酬の支給について

#### 議案第五号

退任役員に対する退職慰労金の支給について

#### 議案第六号

役員退任について

#### 附帯決議一件

#### 報告事項一件

#### その他決議一件

皆さまにご協力・ご理解をいただき、すべて原案通りに可決決定され、午後四時五五分に閉会致しました。



▲議長を務めた、北札幌地区の橋場武夫氏。

# 平成二十六年 第一回地区別懇談会

## Q & A

六月十二日（木）から十六日（月）にかけて、全十二地区で地区別懇談会を開催させていただきました。各懇談会には、常勤役員および各室・部長が二班に分かれて出席し、平成二十五年の事業報告を行なった後、ご出席いただいた組合員の皆さまより貴重なご意見・ご質問をいただきました。

### ◆金融部門

**Q** 窓口職員を渉外担当者に配置転換する等、効率化を図つたらいかがですか。（手稲地区）

**A** 既に中央支店では女性渉外を登用しており、将来的には他の店舗でも可能か検討していきたいと考えております。

**Q** 現在の睡眠貯金払戻損失引当金について教えて欲しい。（北札幌地区）

**A** 睡眠貯金の払戻しに備えるための引当金であり、残高は一〇、六六七千円となっております。

### ◆共済部門

**Q** 推進トレーナーや事務インストラクターについて説明願いたい。（新琴似地区）

**A** 各支店の推進係を指導・支援する職員が「推進トレーナー」です。また、年に一回〜二

回程度、支店を巡回して事務指導や事務改善指導を実施するのが「事務インストラクター」であり、どちらも資格を持つ職員が行なう業務となっております。

### ◆経済部門

**Q** 学校給食へ供給している札幌産農産物は、どのような生産方法、流通で行なっているか説明願いたい。（白石地区）

**A** 札幌市教育委員会と連携して、組合員が生産する地元産農産物を提供しております。

**Q** 地域農業振興計画について説明願いたい。（南地区）

**A** 三年後の札幌農業のあり方について、札幌市内全域に統一した取り組みと五経済センター毎の地域的な取組に分け、現状と課題をふまえ振興方策を策定しました。



厚別地区

**Q** 各部会行事への職員出席を制限している理由を教えてください。（篠路地区）

**A** 制限ではなく統一した基準であります。組合員の方から要望があれば対応致しますので、ご理解願います。

**Q** 農業経営事業の将来のあり方や今後の事業方針について、具体的に説明願いたい。（手稲・豊平・厚別・新琴似地区）

**A** 今後については、一部事業の見直しを図り本来の目的に合った事業内容を検討してまいります。事業収支面等考慮しなければならぬ事項が山積しており、具体的な事業方針についての結論はまだ出ておりません。

**Q** 市街化調整区域の農地を守るため、農協主導で行政に働きかける等の対策を取り進めて欲しい。（豊平地区）

**A** 農地の活用方法については、札幌市・農業委員会との連携により協議をしておりますが、調整区域内の農地・農用地区域・農振地域を中心に農業を守る事を第一に取り組んでまいります。

**Q** 遊休農地解消へ向けた具体策を説明願いたい。（新琴似地区）

**A** 一度に解消できる問題ではありませんが、関係機関との連携が不可欠であり、情報の収集と共有、人・農地プランの作成と活用、就農予定者への支援活動等があります。

**Q** 農業資材の在庫確認が各センターで出来るシステムにして欲しい。（新琴似地区）

**A** 資材の在庫管理手法につきましては、前向きに検討させていただきます。

**Q** 「札幌」と名前の付く農産物の取り扱い構想について説明願いたい。（厚別地区）

**A** ブランド化へ向けて、今年  
は東経済センター管轄の生  
産者に試験的に作っていただく等、  
現在模索中でありませす。将来的に  
は札幌市内全域で行なえたらと  
思っております。

◆経営企画部門

**Q** 一統括支店一協同活動とは  
具体的にどのような活動で  
すか。  
(厚別地区)

**A** 統括支店単位に組合員との  
関係強化と地域住民とのつ  
ながり創りを目的とした活動です。  
地域の子供たちに市内の農業を  
知ってもらう食農教育体験や、JA  
まつりの計画段階から青年部・女性  
部に参加していただくなど地域に



篠路地区

あわせた活動を展開しています。

**Q** 中期経営計画の進捗状況の  
報告がされていないのは何  
故ですか。  
(南地区)

**A** 中期経営計画の進捗状況は、  
理事会に報告しております。  
また、その内容は各支店において  
確認出来るようになっております  
のでご理解願いたい。

◆総務部門

**Q** TPP問題・太陽光発電等  
の再生可能エネルギー施設  
の設置・大規模農地集約等につ  
いて、JAとしての考えを聞かせて  
欲しい。  
(白石地区)

**A** TPP問題については、農  
産物の安全・安心を強調す  
るべく今後も反対活動を継続して  
まいります。また、大規模農地集  
約等は各地域での格差もあり一定  
の見解を示すのは難しいと考えて  
おります。

**Q** 国の規制改革会議「農業・  
農協改革」について考えを  
聞かせて欲しい。  
(南・手稲地区)

**A** 大変な危機感を持っておりま  
す。規制改革会議で出され  
た答申内容が必ずしも農家の所得向

上や地域住民の生活向上に寄与する  
ものとは思っておりませす。

今後については、JAグループと  
して、答申内容を踏まえた改革案を  
作成してまいります。

**Q** 出資証券廃止後の出資金残  
高の確認はどのようにする  
のですか。  
(平岸地区)

**A** 毎年発送しております「出  
資配当金計算内訳書」にて  
ご確認をしていただきます。ご依  
頼により最寄りの支店でも確認が  
可能で、「出資金残高証明書」を発  
行する事も出来ます。

**Q** 出資配当を増口に充当する  
旨の承諾書を出資者からも  
らっていますか。  
(琴似地区)

**A** 現在のところ、承諾書はも  
らっておりませす。この件  
に関しては、当組合の進め方につ  
いて中央会への確認、並びに行政  
機関の見解を視野に入れながら適  
正な対応をしてまいります。

**Q** 組合員への出資増口を要請  
しているが、常勤役員は満額  
出資しているのですか。  
(篠路地区)

**A** 出資増口は要請しておりま  
せんし、常勤役員の満額出

資もしておりませす。

**Q** 反社会的勢力の組合員から  
の排除については、農協法の  
組合員の加入・脱退の自由との整合  
性は取れていますか。  
(琴似地区)

**A** 加入申込んだく場合は反  
社会的勢力でない事を自署  
にて表明・確約していただく事と  
なります。

**Q** 反社会的勢力の組合員から  
の排除に基づき、組合員の  
加入にあたってJAでは暴力団員  
をどのように把握しているのです  
か。  
(西町地区)

**A** 単協としての仕組みはあり  
ませすので、全国連のデー  
タベース等での確認が主となりま  
す。そして今回は、更に加入時に  
自署にて表明・確約をいただく事  
となります。

**Q** 役員候補者と組合の利害関  
係とはどのような事ですか。  
(手稲地区)

**A** 農協の事業と競合する事業  
を行っていない、または  
競合する法人の役員になっていな  
いという事でありませす。

Q 監事候補者の選出について、地区定数割等の一定の基準があるのですか。(琴似地区)

A 平成十年の合併以降はルール決めがなされており、各地区の事業量や組合員数割等を考慮した計算式に基づき、人数配分をしております。

Q 北海道信連に対する外部出資について、Ⅱ分類債権（要（注意先））と聞いていたがその後の業況について説明願いたい。

A 北海道信連の業況が改善され、現在は非分類債権であります。(篠路地区)

Q 北海道信連からの出資配当はどれ位受けているのですか。(手稲地区)

A 奨励金と特別配当金等を含め合計で約一億円であり、財務上は信用事業収益として計上をしております。

Q 正組合員の平均年齢を教えてください。(新琴似地区)

A 七二・九才となっております、昨年とほぼ同じであります。

Q 組合員の高齢化に対応出来る職員の育成が必要だと思えます。JAと組合員の相互理解を深める事の重要性について考えを聞かせて下さい。(新琴似地区)

A 今年度は、顧客満足度を向上させる取り組み（CS改善プログラム）を行なうことで組合員とJAの関係が希薄化する事や、世代交代により取引が減少する事のないように顧客目線での活動をまいりますので、些細な事でもご相談下さい。

Q 農協第2ビル跡地の売却情報を、事前に組合員にも提供すべきだったのではないですか。(篠路地区)



西町地区



中央地区

A 固定資産の処分計画については、総代会の事業計画案の中で、物件を表示して承認をいただき売却しておりますので、ご理解願います。

Q 倉庫（白石米里地区）の利用状況について聞かせて欲しい。(篠路地区)

A 現在は賃貸中であり、底地売却等の予定はございません。

Q 事業利益が毎年向上している要因について説明願いたい。(手稲地区)

A 平成二十三年度以降については、共済事業における高利回り商品の好調と相談事業の仲

介収入の伸長が要因であります。

Q 退任理事に対する退職慰労金の算出方法について、説明願いたい。(厚別地区)

A 常勤と非常勤によっても違いがありますが、報酬額・年数・支給率によつて算出しております。

Q 目的積立金の中に、個人情報漏えいリスク対応等に係る積立金がありますか。(豊平地区)

A 将来における固定資産の改修、除却などのリスクに特化しており、個人情報漏えいに係る部分に対応した積立はしておりません。

### ◆人事部門

Q 職員の人事考課において、組合員の意見を反映させることは出来ないのでしょうか。

A 人事考課は、組合員および顧客視点も考慮させていただいたうえで実施しております。(手稲地区)

※プライバシーに関する質問や、過去同様のご質問につきましては割愛させていただきますのでご了承下さい。

# 常勤役員

# 役員改選



常勤監事

しおたせいじ  
 ④塩田誠次  
 員外(広域)



常務理事

つちだたかお  
 ④土田孝夫  
 学識経験者(広域)



専務理事

いちじょうあきひこ  
 ④一條彰彦  
 学識経験者(広域)



代表理事副組合長

よしだしょういち  
 ④吉田照一  
 豊平地区



代表理事組合長

ふじたのりひこ  
 ④藤田範彦  
 厚別地区

# 理事



あさいよしまさ  
 ④浅井義正  
 北札幌地区



おおはたゆうすけ  
 ④大畑裕介  
 北札幌地区



たかみとしふみ  
 ④高見敏文  
 篠路地区



やまねまさお  
 ④山根正雄  
 琴似地区



いとうこういち  
 ④伊藤幸一  
 琴似地区



めぐろはるお  
 ④目黒晴夫  
 中央地区



わきやしふみ  
 ④脇屋佳史  
 南地区



かるべみきお  
 ④軽部幹夫  
 豊平地区



おくうちなおし  
 ④奥内尚史  
 平岸地区



まつしたしんいち  
 ④松下信一  
 厚別地区



みやぐちひろゆき  
 ④宮口博幸  
 白石地区



まえだえいち  
 ④前田英一  
 北札幌地区



えんどうたずこ  
 ④遠藤多壽子  
 女性(広域)



わだゆみこ  
 ④和田由美子  
 女性(広域)



ひさきしげる  
 ④久木 繁  
 手稲地区



さいとうのぶあき  
 ④齊藤信明  
 西町地区



なんりまさひろ  
 ④南里正博  
 南地区

本年七月一日より平成二十九年六月末までの三年間、役員を務めます理事・監事をご紹介致します。  
 ※④は再任の役員、⑤は昇格の役員です。

# 監事



あらいかずや  
⑨ 荒井和哉

南地区



こしのたいぞう  
⑨ 越野泰藏

白石地区



たかだゆういち  
⑨ 高田裕一

北札幌地区



しまじゅんいち  
⑨ 嶋 順一

篠路地区



みやもとふみお  
⑨ 宮本二三男

新琴似地区



うえまつていぞう  
⑨ 植松貞三

厚別地区

代表監事

この度、地域の皆さまのご推挙によりまして理事の大役をお引き受けすることとなりました。

私の実家は屯田地区において稲作農家でしたが、私自身は働きながら家業を手伝っていたこともあり、農業の流れや農協の役割等については理解しているつもりでございますが、何分にも未経験の分野でございます。今後は組合員皆さまのご指導、ご協力を賜りながらJAの発展のために尽力する所存でございますのでよろしくお願い申し上げます。



すがわらまさゆき  
菅原正行

非常勤理事  
(新琴似地区)

## 新任役員ご挨拶

この度、信用事業担当の常務理事にご推挙いただき就任致しました。このような大役を仰せつかるには誠に微力ではございますが、組合員並びに役職員の皆さまのご指導・ご鞭撻を賜りながら、信頼される経営に努めてまいります。

今般、農業・農協を取り巻く情勢は益々不透明さを増す状況にあります。組合長をはじめ組織代表と共に役職員一丸となって、責務の全うに努力してまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、皆さまの益々のご健勝をご祈念申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。



すながわまさかつ  
砂川昌勝

常務理事  
学識経験者(広域)

この度の役員改選にあたり大役をお受けすることとなり、大変身の引き締まる思いでございます。

現在、農業の先行きが一段と不透明感を増すなか、農協組織も変革を迫られており、組合員本位という組織の原点を強化し、組合員の皆さまのご期待に応えられるJAを目指してまいりたいと考えております。

皆さま方の一層のご理解とご協力をお願いし、就任のご挨拶とさせていただきます。ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。



ふじかわ のぼる  
藤川 昇

非常勤理事  
(白石地区)

この度、篠路地区の理事に就任致しました山本和夫でございます。このような大役を仰せつかるには誠に微力でございますが、先輩各位ならびに地区の皆さまのご助言とご協力をあおぎながら業務に邁進してゆく決意でございます。

農業一筋で仕事をしてきたため何分不慣れな事も多く、ご不便をおかけすることもあろうかと思いますが、組合員皆さまの暮らしを守り、地域社会への貢献と共生によって組合員のために尽力する所存であります。皆さま方のあたたかいご理解とご協力を心からお願い申し上げます、就任のご挨拶と致します。



やまもとかずお  
山本和夫

非常勤理事  
(篠路地区)

監事就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

この度の役員改選にあたり地元西町地区よりご推挙いただき監事に就任致しました。監事の重責は非常に重く、私には務まらないと考え幾度となくお断りさせていただいておりましたが、熱心にご推挙いただき大役ではございますが引き受けさせていただくこととなりました。就任後は関係各位のご協力、ご指導を受けながら任期を務めたいと思っておりますので更なるご指導ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。



たかはしいわお  
高橋岩雄

非常勤監事  
(西町地区)

農業変革の時代に、8年間も農協運営に関わられた事に感謝申し上げ、退任の挨拶と致します。

平成18年7月 理事就任  
平成20年7月 代表理事副組合長就任  
平成23年7月 理事就任



関戸英樹

非常勤理事  
(篠路地区)

# 退任役員 ご挨拶

理事退任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

1年と2期の7年に亘り、務めさせていただきました。この間、組合員および役員皆さまのご指導・ご鞭撻により今般退任することができ、感謝すると共に厚くお礼申し上げます。TPPおよび改革等で農業・JAは益々難しく不透明な時代となりますが、力を合わせて難局を乗り越えようではありませんか。

最後になりますが、組合員皆さまのご健勝とご多幸を祈念しますと共に、組織の更なる発展をご祈念申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

平成19年7月 理事就任



池田 敏男

非常勤理事  
(手稲地区)

2期6年、組合のお役に立てよう務めてまいりましたが、その結果は、自らの力不足を痛感しただけであり、恥ずかしい限りです。JAを取り巻く環境は大きく変化しつつあり、それに対応する為には、変えるべき事を変えねばならず、果敢な挑戦が必要となるでしょう。一方で、協同組合の原点に立ち戻り組織の再構築が必要になるとも思います。

最後に、ご指導やご助言を下さった諸先輩にお礼申し上げます、ありがとうございました。

平成20年7月 理事就任



黒田 徹

非常勤理事  
(新琴似地区)

退任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昭和51年に旧札幌市農協へ奉職以来職員として、また平成20年からは役員として都合38年間当JAに勤めさせていただきました。誠にありがとうございました。この間、組合員をはじめ関係の皆様方にご協力と、多大なお世話になりましたこと、厚くお礼申し上げます。

この後は一線を退き、“人生設計”を練直した上で、農業に関わりながらも楽しく悔いのない人生を過ごしたいと考えております。今般は農業、JAに対しておかたづけなないくらい“向かい風”が吹いておりますが、みんなで知恵を出し合い、力を合わせて乗り切っていただきたいと思います。私は陰ながら応援していく所存であります。

末筆ながら、JAさっぽろの発展と皆様方のご健勝をお祈り申し上げ、一言お礼の挨拶とさせていただきます。

平成20年7月 常務理事就任  
平成25年7月 専務理事就任



内藤隆二

専務理事

退任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

平成23年7月の理事就任から1期3年に亘り、農協の運営に携わってまいりました。この間、組合員皆さまの温かいご支持と役員皆さまのご指導・ご鞭撻により、今般無事に退任することができ、感謝すると共に厚くお礼申し上げます。JA経営はこれからも厳しい環境に晒され、一段と経済全体が不透明さを増すと思いますが、今般は一組合員として見守っていきたいと思っております。

最後になりますが、組合員皆さま方のご健勝とご多幸を祈念しますとともに、JAさっぽろの更なる発展をご祈念申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

平成23年7月 理事就任



布川賢一

非常勤理事  
(白石地区)



山あり

空あり

大地あり

自然と共に

齊藤重博



### 初夏を迎えて

“もの好きが作るタマネギ”  
そう思われても、作り続けた札幌黄  
何度もやめようと思ったけれど、  
思い留まらせてくれたのは  
待ってくださっているお客さんと  
絶やすものかという使命感

蝦夷梅雨がようやく明けた六月下旬。先日まで降り続いた記録的な長雨は生育に多少の影響を与えはしたが、タマネギ発祥の地、丘珠では、広大な土地に育ち盛りの苗が青々と広がる。

齊藤重博さんは、丘珠地区で札幌黄を作り続けてきたタマネギ農家の四代目。従来、道内では主流だった札幌黄が、昭和五十年代にF1品種へと切り替えが進んでいったなかでも、幼い頃から愛着のある札幌黄の味の良さに惚れ込んで、手間を惜しむことなく「自家採種」を続けている。

「札幌黄はね、病気や雨にはやっぱり弱いけれど、今年はやや元気な方だよ。まあ、秋になってみないと分からないけれど」

庭先で齊藤さんが愛おしそうに見つめるのは、可愛らしく風に揺られるネギ坊主。



# 組合員紹介

「少し、花が咲いてきているでしょう？  
まだまだ、ソフトボールくらいのお大き  
さまでなるんだよ」

収穫したもののなかでも形、大きさ、  
重さ、全てにおいて秀逸なタマネギが  
翌年の春に母球として植えられ、ネギ  
坊主となる。種として植えるのはその  
また翌年となるため、母球の選別時に  
判断を間違えれば、以降のタマネギ作  
りに影響を与えかねないが、結果は二  
年後になってみなければ分からない。  
もしもに備えて毎年残しておくという  
予備の種は二年ともたないゆえに、見  
極めは試行錯誤の連続で、経験だけが  
ものをいう。

## 子供が喜んで食べるタマネギ

齋藤さんの家で収穫された札幌黄  
は、そのほとんどを庭先のみで販売し  
ている。今年で二十年目を迎えるとい  
う自宅前の直売所。古くからの常連さ  
んのなかには、二世代に亘って通い続  
けてくれている方もいるそうだ。  
「時期が近くなると、「今年はいつか  
ら?」「まだ?」ってせかされてね(笑)。  
うちは、反別は少ないけれど待ってく  
れているお客さんが居るのは有難いこ  
とだよ」

モトトは、食べて美味しい。こ  
と。店頭には、栗山にある奥様の実家  
で作ったカボチャやジャガイモも並ぶ  
が、形や見た目が良いものは多くない。  
特に札幌黄は、天候に左右されやすく  
デリケートなため、均一に作ることは  
難しいが、「一度食べれば分かっただら  
える」と、その味に太鼓判を押す。  
「タマネギ嫌いの子供でも喜んで食べ

てくれる。それが、うちのタマネギ。  
大きさは不揃いかもしれないけれど味  
には自信があるから「もう、おたくの  
しか食べられない」なんて言われると、  
生産者冥利に尽きるね」

「肉厚で軟らか」「加熱によって甘み  
が強く感じられる」札幌黄の魅力を知  
るにはジンギスカンが分かりやすいと  
のこと。鍋に載せるとすぐに透き通り、  
甘くトロトロになる札幌黄はお肉との  
相性も抜群で、お店で出てくるなか  
か焼けないタマネギは、まず口にしな  
いのだと笑う。

## 状況が変わって

近年、札幌黄は「幻のタマネギ」と  
して以前よりも様々な場面で取り上げ  
られる機会が多くなった。「札幌黄い  
んくらぶ」創設のほか、調理食材とし  
て魅力的な札幌黄を使用する飲食店も  
増えた。東区でも特産物として積極  
なPRが行なわれるようになったが、  
その影には、地元に根ざした札幌黄を  
絶やさぬよう作り続けてきた生産者た  
ちの努力がある。

「ちよっと前までは、もの好きが作る  
タマネギ」と思われることもあったか  
もしれないね。生産者泣かせのタマネ  
ギではあるけれど、やっぱりその味を  
知ってもらいたくて、ありとあらゆる  
取材は断らないようにしていたよ。「高  
くていいからやめないで」と、札幌  
黄を楽しみに待っていてくれるお客さ  
んがいてくれたことも大きいね」

かつてタマネギの一大産地であった  
札幌は、宅地化が進んだことでタマネ  
ギ自体の生産量が大幅に減少し、札幌

黄の生産量も激減した。使命感を持つ  
て、受け継がれてきた札幌黄を細々  
と作り続けてきた生産者が居たからこ  
そ、こうしてまた脚光を浴びることに  
も繋がった。

「多くの人に関心を持ってもらえるよ  
うになって嬉しい半面、話題ばかりが  
先行してしまつて本当の札幌黄を知つ  
てもらえているか、味わってもらえて  
いるか、少し不安もある」  
ブームに踊らされることなく、未永  
く愛されて欲しいという想いがある。

## まだ、やめられない

後継者不足が嘆かれる札幌市内のな  
かでも、まだまだ若い生産者が多い丘  
珠地区。齋藤さんにとっては、そのほ  
とんどが同年代の子供たちだそうで、  
自分の年齢を痛感するようにもなつて  
きた。

「この間も農薬の話をしていただけ



▲「これが、一番大切なもの。奥さんの次にね(笑)。種は、乾燥しないよう厳重に保存されている。

れど、途中で農薬の名前なのか、自分  
の飲んでいる薬の名前なのか、もう分  
からなくなつて(笑)。先輩方もみん  
なまだやっているから、体がもつまで  
はやろうと思つているんだけど」

「いつやめようかといつも考えている  
のだと話す、タマネギを待つてくれ  
ているお客さんのためにも、まだやめ  
る訳にはいかなそうだ。

「みんな、もう歳だつて分かつている  
から「私が手伝いにくるからやめない  
で」「このタマネギが味わえなくなる  
のが悲しい」つて言うんだよ。「やめ  
ないで」と毎年待つてくれている人が  
いるうちは、まだやめられそうにない  
かな」

多くのファンに支えられる齋藤さん  
の札幌黄作り。まだしばらく、先の心  
配をする必要はなさそうだ。

(二〇一四・六・二十四取材)



▲玄関に飾られていたのは、長年のお客さんからプレゼントされたという大きな絵手紙。



6月17日(火)  
そ菜部会

## 雪印種苗(株)北海道研究農場・ レンゴー(株)恵庭工場を視察

そ菜部会(山本和夫部会長)では、56名が参加し、管外視察研修会を開催致しました。雪印種苗(株)北海道研究農場では、緑肥の鋤き込みなどにより得られる病害虫の抑制効果や同社取扱い品目の品種特性など実物を見ながら研修を行ない、レンゴー(株)恵庭工場では青果物を出荷する上で重要な役割を持つ段ボールの製造工場を見学しました。視察終了後は懇親会を開催し、部会員相互の親睦を図り無事終了しました。

(北間特派員)



◀雪印種苗さんより、  
こんなお土産を頂きました。



6月18日(水)  
女性部厚別支部

## 支笏湖水中遊覧船とキッコーマン醤油工場見学



女性部厚別支部(植松スミ子支部長)では、部員47名が参加し、日帰り見学会を実施しました。支笏湖では水中遊覧船に乗り、透明度が高く、鮮明に見える湖底の様子に驚きと感動!その後ランチバイキングで旬の野菜を使った料理を堪能し、次に向かった北海道キッコーマン株式会社では、しょうゆの製造工程を映像や展示品などで見学しました。



6月22日(日)~23日(月)  
女性部篠路支部

## 十勝方面へ研修旅行 ばんえい競馬に大興奮!

女性部篠路支部(嶋知子支部長)では、13名が参加し、十勝・富良野方面へ研修旅行を実施致しました。北海道ガーデン街道を巡って自然を満喫し、ばんえい十勝ではばんえい競馬のバックヤードツアーに参加し、普段入れない厩舎を見学した後にレースを観戦!日頃のストレスも吹き飛ばすほどの大興奮で身も心もリフレッシュして帰ってきました。(津村特派員)





7月2日(水)

女性部厚別支部竹葉会

## 今年度の「見学会」は JAさっぽろ野球部の応援と プラネタリウム鑑賞

女性部厚別支部竹葉会（小林祐美代表）では、部員5名にて「見学会」を実施致しました。当初はリニューアルオープンした青少年科学館で一日を過ごす予定でしたが、事務局職員が選手として出場する、JAさっぽろ野球部の試合をぜひ応援したい！との希望により、午前は暑い日差しの下での野球観戦、午後から科学館にてプラネタリウムを鑑賞しました。



▶ポンポンと拍手で熱い声援を送りました！残念ながら試合は負けてしまいましたが、きっとこの応援は選手の力になったはず。

6月10日(火)  
月寒支店

## 初開催！組合員家族と職員の交流会



月寒支店では、西岡第一農事実行組合（松本吉正組合長）の組合員家族と職員の親睦を図ろうと、八紘学園農場内にあるツキサップじんぎすかんクラブにて総勢28名が出席し初めての交流会を盛大に開催しました。美味しいお肉を食べながら、組合員皆さまと色々なお話し、ビンゴゲームでは豪華（！？）景品の数々に大盛り上がり！相互の親睦を深めることの出来た大変有意義な会となりました。（谷川特派員）

◀「ジンギスカン＝ラム」と思われる方が多いと思いますが、こちらではマトン肉を提供していました。



7月7日(月)

資産管理部会・青色申告会手稲支部

## 恒例の合同日帰り研修会 今年度は、旭川の名所めぐり

手稲支部の資産管理部会（高田信利支部長）と青色申告会（三国惇支部長）では、会員30名の参加により合同日帰り研修会を実施致しました。視察先の旭川では、男山酒造にて試飲を楽しんでからホク酔い気分で昼食のジンギスカンを味わい、メインの旭山動物園を満喫！園内はたくさんの観光客で賑わっていましたが、会員皆さまの親睦を深めることの出来た研修会でありました。（羽毛田特派員）



# 虹のひろば

JAさっぽろの様々な部会活動の様子をご紹介します

「Life(女性)が Love(つながり)をもって Life(生活)について Love(自由)に Love(学ぶ)」

JAさっぽろ女性大学

## 「シカレッジ」



### 第3回講座 占いを通しての人生観 講師：深川導運先生

シカレッジ第3回講座の講師は深川導運先生！  
自分の手相を見ながら、人生観について改めて考える時間となりました。



手相は、  
“心の鏡”です。



ふかがわどうろん  
深川導運先生  
手相・タロット占い鑑定士で、  
司会業もこなす。過去に天童  
よしみの司会を14年間務め  
る傍ら手相・タロット占いを  
25年。各地で講演も多数行  
なっている。



※薬指の下はラッキー線！数の分だけ、年内に良いことが起きるかも！？また、生命線を挟むように1mmでも平行に線がはしている方は、3ヶ月以内に大金を手にする可能性があるそうです。ただし、この線は1週間で消えてしまうそうなので、毎日手をチェックしてくださいね☆ちなみに、利き手は身近な未来を、利き手ではない手は生まれ持った運勢を表すそうです。

# 自分が住みたいと思う平屋賃貸住宅

◎施主《手稲地区》  
有限会社すなやま  
石田 均さん



## 一度は事業を諦めていた場所

“賃貸経営は、交通の利便性が良くないと成り立たないと思っていた”と石田さん。20年程前の宅地造成を転機にアパート建築を検討しましたが、当該地区では時期尚早との意見もあり、それ以来この土地には固定資産税だけを払い続けていました。

### 施設の概要

敷地面積：405.00㎡(122.51坪)  
構造規模：木造平屋建て3LDK 2棟  
延床面積155.06㎡(1棟23.45坪)  
ガス設備(エコジョーズ)・  
各戸2台の駐車場



## 事業展開のきっかけ“環境は変わる”

近年、あるハウスメーカーからこの土地でのアパート経営の提案を受けた際に“事業として成り立つのか？”と疑問に感じたことがきっかけとなり、数社から取り寄せた事業計画書を検討した結果、計画書ほどの収益性はないが事業としては成り立つとの結論に至り今回の建築となりました。

“自分達が住みたいと思う物件”を第一に戸建て住宅に絞り、東日本大震災後の関東方面で平屋建て住宅の需要が増えているとの調査とJA手稲支店の職員等の意見を踏まえ、北海道でも需要ありと“バリアフリーの平屋戸建て住宅”にたどりついたそうです。

アパート建築に比べ一戸当たりの建築コストは若干高くなりますが、“しっかりしたメンテナンス”により空き家となるリスクを抑えられるとの経験から事業の展開も十分可能であり、“しっかりした建物”であれば場合によっては売却も可能と考え、土地を分筆して建築をしている等、先々を見据えた“しっかりした考え”により事業を計画されておりました。

### ◎出来栄と満足度

効率性・環境性等を考え都市ガス(エコジョーズ)にしたため費用は増えましたが、完成した建物を見たお父様が“俺が住みたい”と言ったほど、皆さんに自慢できる満足な家に仕上がったとのことで、建築会社の基本設定が実に良く出来ていると感心されておりました。

### ◎JAの施主代行方式について

「事業としては良いと思いました。細かいところや気が付きにくいところへの気配り、建築の素人には分からないポイントをきちんと押さえてくれていたので安心でした」とのお言葉を頂き、大変感謝しております。

お忙しい中取材に応じて頂きました石田さん、誠にありがとうございました。

JAさっぽろでは、資産管理事業を通じて組合員の皆様のお役に立てるよう様々な提案・相談・サポートを行なっております。資産活用のご相談は、各支店相談課・不動産プラザにお任せください。

西町支店 ATM休止のお知らせ

西町支店改修工事に伴い、下記の日程で同支店のATMが休止いたします。  
他支店のATMについては通常通り稼働いたします。何卒ご了承くださいませ。

西町支店ATM 休止日 9/6(土) 9/13(土) 10/11(土)

伝

言

板

CS改善プログラム、始動!



▲上司と部下による面談の場面を想定し、ロールプレイングを行なった管理者研修の様子。実施後には反省点を振り返る。

CS改善プログラム導入にあたり、第1週目となる7月7日(月)から4日間に亘って階層別研修が行なわれ、統括支店長はじめ各支店の渉外・窓口リーダーが実際の活動スキルについて学びました。プログラムは、役職員が自ら考え、自ら行動して課題解決を図るというもの。研修ではロールプレイングなどを通して管理者は部下に対するコーチング方法、渉外・窓口リーダーは利用者にとって気持ちの良いサービスなどについて議論しました。第2週目からは全支店を3グループに分けて、本格的なプログラム導入が始まっています。

スタントマンが体を張って再現!  
交通安全マナーの徹底を呼びかける

6/13 あすかぜ高校  
7/15 丘珠高校



J A共済連と北海道警察の主催による生徒向けの「スクエアード・ストレイド技法による自転車交通安全教室」が札幌あすかぜ高校・札幌丘珠高校の2校で開催され、自転車のマナー違反における危険性を全校生徒へ呼びかけました。

スクエアード・ストレイド技法とは、交通事故を現実に近い状態で再現することにより危険性を疑似体験させる技法のこと。両校ではスタントマンが様々な実技講習を実施し、生徒たちは臨場感溢れるスタントに交通事故をより現実的に捉えていたようです。

JAさっぽろ青年部主催  
農産物直売を行ないます!



サッポロさとらんどに  
今年も来て!見て!  
味わって!

サッポロさとらんどで開催される「たまねぎフェスタ」に今年もJAさっぽろ青年部の直売ブースが登場します!「札幌の大地に実りの秋」をテーマに掲げ、元気な札幌の農業をPR!青年部員が丹精こめて育てた自慢の一品を販売いたします。皆様のお越しをお待ちしております。

開催日時: 9月27日(土) ~ 9月28日(日)

「たまねぎフェスタ」期間中 午前9時~ ※ 売切れ次第終了

開催場所: サッポロさとらんど 交流館

札幌市東区丘珠町 519 番地 1 (第6 駐車場をご利用下さい)

◆第三回定例理事会

平成二十六年六月二十六日(木)、午後一時より本店役員会議室において第三回定例理事会が開催された。



●協議事項

一、監事監査回答書について

平成二十五年定期(決算)監査で指摘された課題事項、要改善事項、および事務整備事項に対する回答内容が詳細に説明され、可決決定。

二、農業協同組合検査指摘事項に対する改善状況等報告について

行政庁より回答が求められている報告書提出後の改善状況について、概要および具体的な報告内容が説明され、可決決定。

三、定款の一部変更について「再」

平成二十六年四月二十八日開催の第二回定例理事会で諮った変更内容に一部不足があった事による再提案

おくやみ

下記の正組合員の方々が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。(6月16日～7月15日)

支店名	氏名	享年	月日
南	阿部千代さん	90才	6 / 26
平岸	高橋静夫さん	79才	6 / 28
西野	南部信夫さん	79才	7 / 6
	齊藤義雄さん	95才	7 / 8
篠路	大萱生 博さん	94才	7 / 5
	川島忠雄さん	78才	7 / 5
	大萱生美代さん	92才	7 / 9
新琴似	宮本俊行さん	83才	7 / 11
丘珠	西嶋きみ子さん	99才	6 / 17
	元木駒吉さん	84才	7 / 2

JAさっぽろDATA

(平成26年6月末業務実績) (平成26年5月末業務実績)

組合員数	正組合員	4,053名	正組合員	4,051名
	准組合員	23,587名	准組合員	23,417名
	合計	27,640名	合計	27,468名
出資金残高	46億5千9百万円		46億4千5百万円	
販売取扱高	2億7千8百万円		1億2千2百万円	
購買供給高	3億3千1百万円		2億2千9百万円	
貯金残高	2,603億8千1百万円		2,591億5千8百万円	
融資残高	913億8千5百万円		920億4千8百万円	
共済保有高	6,093億1千6百万円		6,119億4百万円	
施設建設取扱高	3千2百万円		3千万円	
管理受託戸数	4,117戸		4,104戸	

\* 出資金残高については、処分未済持分を控除した額です。

内容が説明され、可決決定。  
 四、就業規程の一部改正について  
 土曜日における休日管理(出勤体制)を任意の期間(月単位)で管理出来る様に緩和する事と、土曜日と祝日が重なる場合における取扱い、並びに産前産後休業期間の社会保険料の免除制度が開始された事に伴う所要の改正である事が説明され、可決決定。  
 五、準職員就業規程の一部改正について  
 準職員に係る産前産後休業期間の社会保険料の免除制度が開始された事に伴う所要の改正である事が説明され、可決決定。

●報告事項

- 一、JA全中要改善JA指定解除報告
- 二、地区別懇談会での質問・意見等の報告
- 三、延滞債権経過報告
- 四、五月末財務状況報告
- 五、五月末組合員加入・脱退状況および未済持分譲渡報告
- 六、六月の動静と七月の予定について  
(開会・午後一時十九分)

善戦むなしく惜敗

JAさっぽろ野球部 石狩管内JA野球大会

第56回石狩管内JA野球大会が、7月12日(土)から2日間にわたって石狩市青葉球場にて開催され、9月に行なわれる全道大会出場の切符を賭け、5チームが熱戦を繰り広げました。当JAチームは、この春から新入部員2名とマネージャー2名が加わり20人体制で、高橋健太監督(北札幌支店)のもと日々練習を重ねてきました。

戦いの軌跡は次の通りです。

・1回戦《対 JA北いしかり 1-2》

1点を争う緊迫した試合で先制点を奪われ、追いかける展開となり最終回に意地を見せて1点を取ったが万事休す!

・第3位決定戦《対 JAいしかり 7-0(4回コールドゲーム)》

初回から打線がつながり得点を重ね、投げては小本投手(本店:ローンプラザ)の力投で相手打線を見事完封。チームは第3位を獲得。

たくさんのご声援、ありがとうございました



▲北いしかり戦での最終回2アウトから4番水口選手(琴似支店)が、応援団の期待に応えライト前ヒットを打つ。

選手は、最高のプレーと優勝を目指し2月から練習に取り組んできましたが、あと一步のところまで1点が遠く3位という結果におわりました。

当日応援に来ていただきました、多数の組合員の皆様、役職員の皆様に感謝を申し上げるとともに、今後もJAさっぽろ野球部をよろしくお願い致します。

2014

# 虹の大樹 NO.194

虹の大樹 ● 8月号  
平成26年8月10日 ● AUGUST 2014  
編集・発行 / 札幌市農業協同組合  
〒060-0010 札幌市中央区北10条西24丁目1番10号 TEL011-621-1311  
ホームページ <http://www.ja-sapporo.or.jp/> Eメール [kouhou@ja-sapporo.or.jp](mailto:kouhou@ja-sapporo.or.jp)



あなたの自慢 教えてください



可愛い孫の雛と桃。  
リヤカーを引いているのは  
ミニチュアホースの“じゅんこ”  
です。  
ミニチュアホースは、じゅんこの  
他にも6頭います。  
昨年、オープンを迎えた  
「讃岐うどん 竹の家」の前で一。

### ◆みなさまの自慢を教えてください◆

小さいお子さんやお孫さん、新婚さん、ペット、  
料理、新たに家業を継いだ方、家宝など、  
自慢のものを大募集!  
お近くの各支店または本店 広報課まで、  
お気軽にお声かけ下さい。

裏表紙のタイトルは、  
きゅうりやトマトなどに一般的に殺菌剤で使われている  
「ジマンダイセン」をアレンジしたタイトルです。